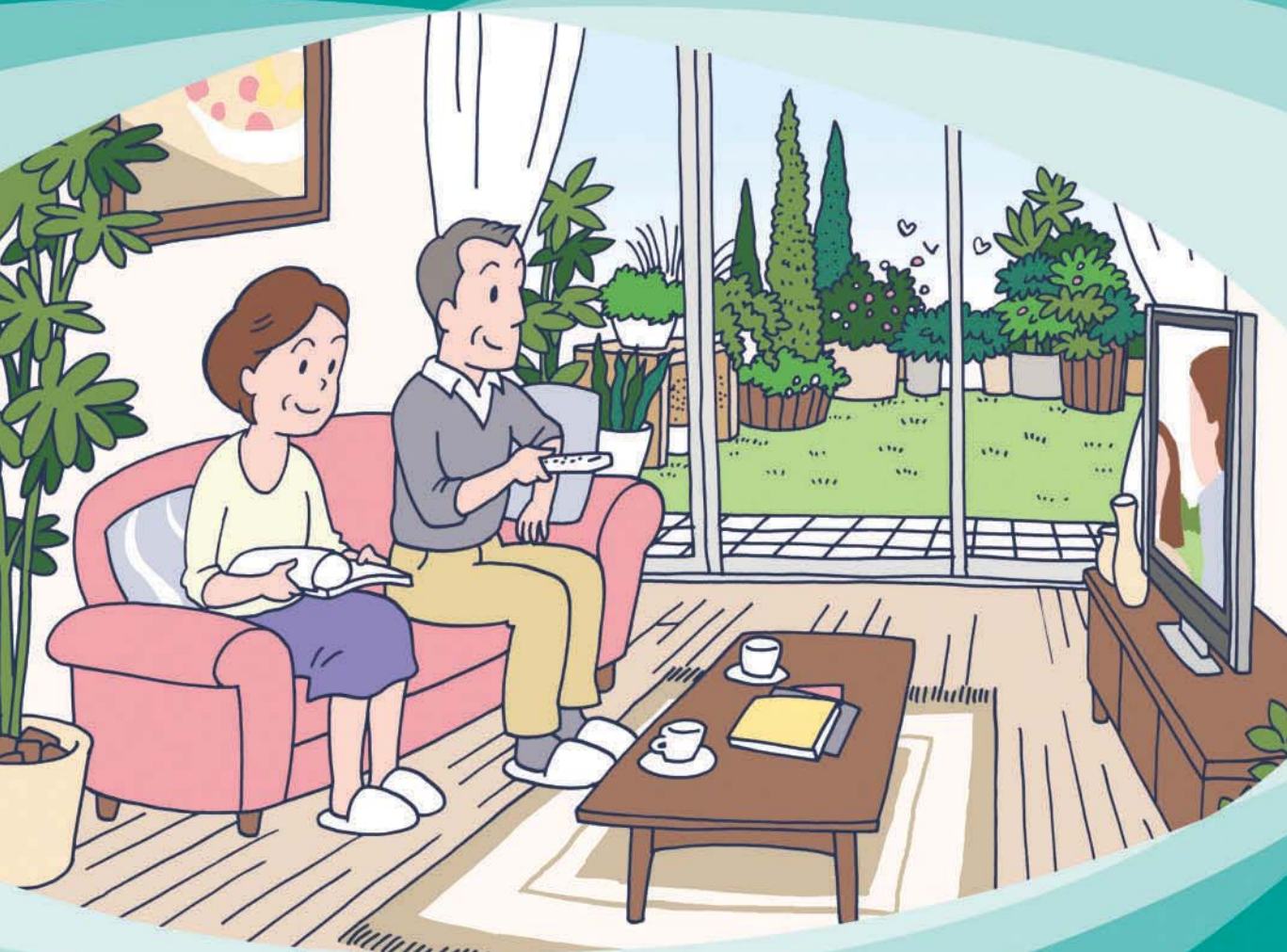


# 白内障手術と 手術後の見え方



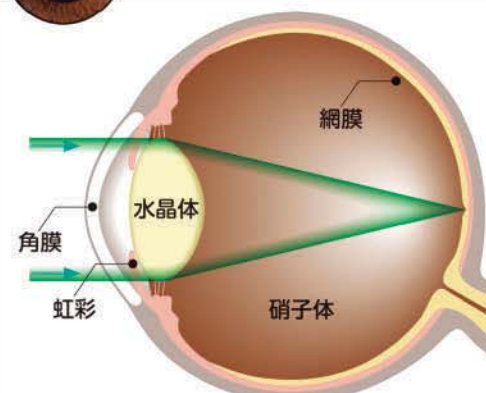
監修：東京歯科大学水道橋病院 眼科教授  
ビッセン 宮島 弘子

## 白内障とは？

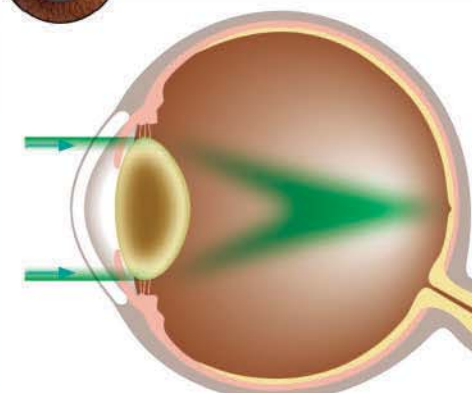
水晶体は眼の中でレンズの役割をする組織です。  
水晶体がにごると光が十分に通らなくなります。



正常な眼



白内障の眼



もやがかかって見える、明るいところで眩しい  
などの症状が現れ、見えづらくなります。

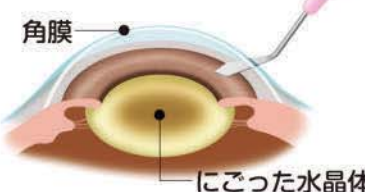
## 白内障の治療って？

白内障は主に手術によって治療を行います。

小さな切開からにごった水晶体を砕いて取り出し、人工の水晶体である眼内レンズを挿入します。

1

切開します



2

にごった水晶体を砕いて  
吸い出します



3

眼内レンズを挿入します





眼の状態と手術時に入れる眼内レンズによって  
見える“範囲”に違いがでます。

眼内  
レンズ

## 単焦点 ピントが合う距離が1つ

ピントを合わせる調節力がないため、遠くにピントを合わせると近くが、近くにピントを合わせると遠くが見えなくなります。ピントが合わない距離を見るためには眼鏡が必要です。



見える  
範囲

**狭い** 手元から遠くまでの  
ある1点のみよく見える

見える  
質

**良い** ピントが合う1点はとてもよい

## 多焦点 ピントが合う距離が複数

手元から遠くまでおおむねピントが合うため、眼鏡に依存する頻度を減らすことができます。ただし、眼鏡をかけた方が楽に見える場合があります。



**広い** 手元から遠くまで見える

おおむね  
**良い** ピントが少しあまい

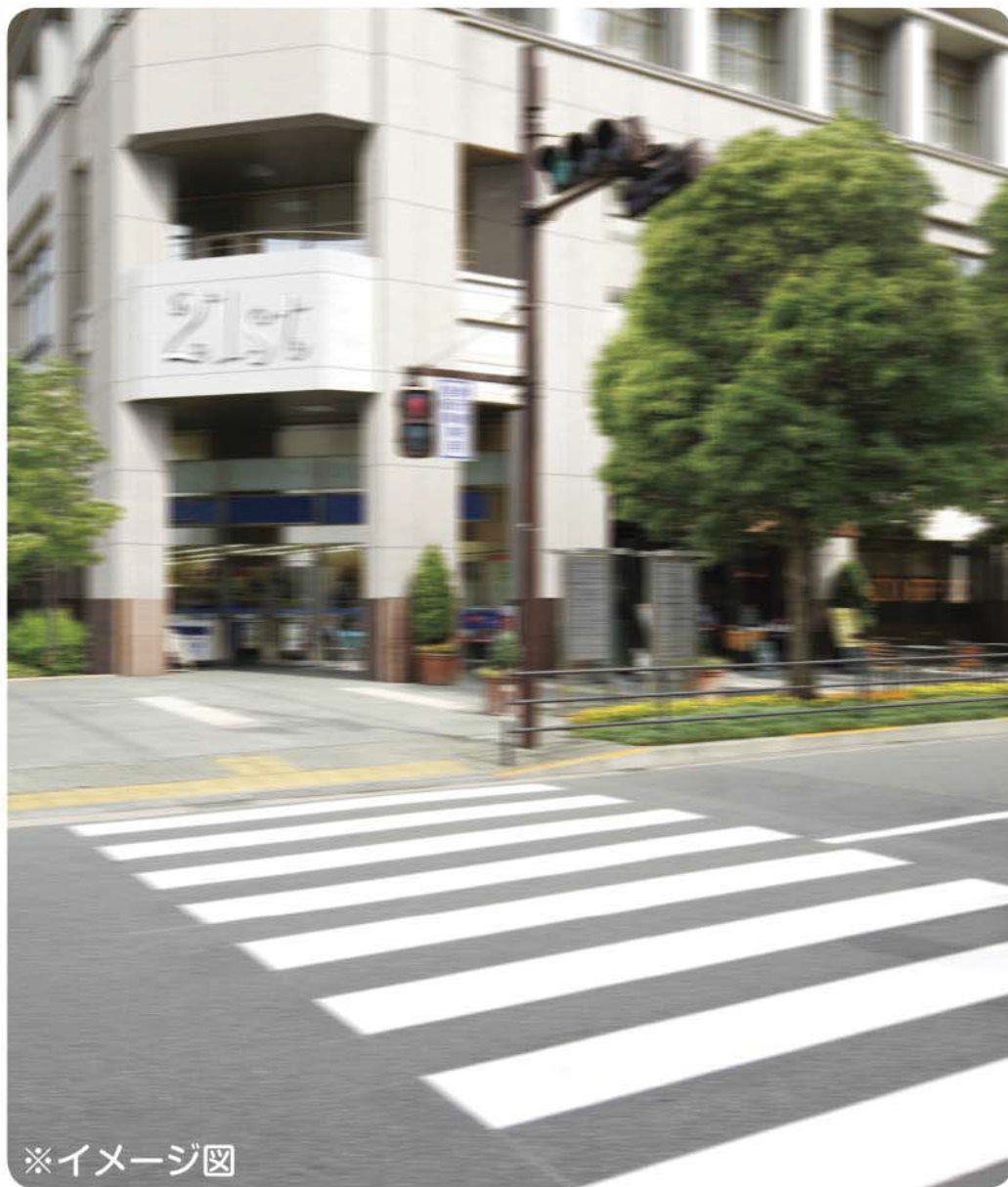
注意：眼の状態の診断によって、眼内レンズの種類が選択できない場合もあります。



眼の状態（乱視など）によって、  
手術後の見える“質”に違いがでます。

## 乱視 の影響

多い



※イメージ図

悪い すっきり見えない

## 合併症について

### 手術中の合併症

#### ●破囊（はのう）

ごく稀に、にこった水晶体が入っていた袋（水晶体嚢）が、何らかの原因で術中に破れることがあります。これを破囊といいます。

この水晶体嚢に眼内レンズを入れるため、大きな破囊が起こった場合には、手術前に予定していた眼内レンズを挿入できないことがあります。

### 手術後の合併症

#### ●後発白内障

眼内レンズを入れる水晶体嚢の奥側（後嚢）がにこって、手術後に再び目がかすむことがあります。それを後発白内障といいます。

治療はレーザーを用い、簡単に短時間で、にこりをとることができます。

#### ●グレア・ハロー

強い光源を見た場合に強い光をまぶしく感じたり（グレア）、光の周辺に輪がかかって見えたり（ハロー）することがあります。個人差はありますが手術後の時間の経過とともに慣れてくるといわれています。

## 「白内障情報室」 check!

白内障に関する詳しい情報はココをチェック！  
<http://www.cataract-iol.jp/index.html>